

日本の長寿新記録（36才以上！）のオオミズナギドリを確認！

関連する調査名：鳥類標識調査

2012年1月26日にマレーシアのボルネオ島で、海鳥の一種オオミズナギドリが衰弱して救護捕獲されました。このオオミズナギドリには金属製の足環がついており、確認したところ36年8ヶ月前の1975年5月16日に鳥類標識調査として京都府の冠島で捕獲し、足環を付けて放鳥された個体であることが分かりました。

なお、日本に生息する野生鳥類について確認された長寿記録の中で、36年8ヶ月は新記録です。

この個体は1975年時点で既に成鳥でしたが、一般的に、冠島のオオミズナギドリ雛に足環を付けて放鳥すると、4年後から冠島に戻ってくることが確認されていますので、恐らく1975年5月時点で4才以上、2012年1月時点では40才以上だったと推測されます。

こうして野生の鳥類が長生きしたことが分かるのも、鳥類に足環を付けるという鳥類標識調査ならではの成果です。今後の調査結果もお楽しみに！



長寿確認記録の個体に装着していた足環

文責：保全科